

## 県央経営者会 第九回例会「新春のつどい」が盛大に開催される

日時 平成19年2月5日  
会場 厚木ロイヤルパークホテル



平成19年になり初めての例会が「新春のつどい」として、2月5日(月)に開催されました。当日の進行・運営は理事会メンバーが担当し、長谷川康幸氏の司会で進行し、福森 登氏の開会宣言により例会が開始されました。始めに河野太郎衆議院議員(当会最高顧問)の講演があり、「政令指定都市である横浜に県庁をおいておく必要はない、県民としては県中に県庁を移したほうがよいのではないか。そのほうが県央の活性化につながるし、そうなればJR東海も喜んで新幹線を県央に止めるだろう。」という力強い励ましのお言葉をいただきました。続いて「現代に求められる経営思想」と題して、境野勝悟先生の講演があり、独特の語りによる内容は笑いの中にも逆の発想から見た新たな視点に参加メンバーは領きながら聞き入っていました。講演後、大泉会長の謝辞に続き、市川 稔氏の閉会宣言で無事例会は終了しました。

引き続き、隣の部屋に移動して懇親会・大名刺交換会が開催されました。今回はテーブル席をすべて指定席とし、出席者の名簿を配って誰がどの席に座っているか一目でわかるように席次表を作りました。この試みは大変好評でしたので、次回以降も席次表を作っていきたいと考えています。懇親会は、竹村和子氏の司会で進行し、お忙しい中、駆けつけて頂いた亀井善太郎衆議院議員(当会最高顧問)に挨拶をいただき、堀江則之県会議員の発声により乾杯が行われました。歓談の中、新入会員の紹介に続き各テーブルで名刺交換会が開始されました。新入会員は、石垣公雄氏(石垣登記事務所)、市岡隆司氏(バイオコスモ)、望月繁三氏(望月事務所)の3名の方々でした。この名刺交換会は、会発足以来初めての試みで、大変盛り上がった会合になりました。なかには急きよ会社から名刺を取り寄せる会員もあり、席次表を見て遠い席まで出かけて自己紹介する会員も見られました。あまりの盛り上がり、会合を延長して9時過ぎに米山君夫氏の中締めで大成功裏に終わった名刺交換会となりました。



# 境野 勝悟氏講演

## 「現代に求められる経営思想」

〜これからの経営者はどうあるべきか〜

私は栄光学園というミッションスクールで先生をしていました。キリスト教という思想は自分に合わないと感じ、日本人に合った思想を教えなければならぬと思います。40歳で塾を始めました。日本人は今、日本人であることを忘れていきます。では日本人とは一体何か？という思想が日本人に合うのか？そのことをはっきりしなければいけないと思います。例えば欧米流の思想でもって利益のみを追求してきた日本の経営者は、根詰めていくと自閉症になってしまう。欧米人は目標を立てて頑張らなければ動けない人種ですが、日本人は目標なんか立てずにいい加減でいいんですよ。今、日本人としての生き方をもう一度考え直してみるときではないかと思えます。

人生は後半がよければそれでよし。百年前までの日本人の先祖は、どういう日本人になりたいと思っただけでも心は豊であった。昔は食えなくて死んだ時代があったが、今は食いすぎて死ぬ時代になってしまった。また弱いものを助けなければみんなが助からないのだという考え方も忘れられている。ただ会社を大きくしよう大きくしようと考えると考えてばかりいると、最後に会長になって第一線を引いても誰も会いに来てくれない。それは寂しい人生ではないか。



### プロフィール

境野 勝悟 氏

哲学者、東洋思想研究家、作家

■略歴  
 1932年 神奈川県横浜市出身  
 1955年 早稲田大学教育学部卒業  
 私立栄光学園にて国語科教員として就任  
 1973年 同校を退職。  
 その後、駒澤大学大学院神学特殊研究科博士課程修了。  
 現在 神奈川県大磯町にて「道塾」を主宰。全国各地にて講演会を開催。

■主な著書  
 人生を支える禅の名言（致知出版社、2005年）  
 「禅の名問答」に学ぶ人間学（致知出版社、2004年）  
 陽明学と禅の心（致知出版社、2003年）  
 日本の心の教育（致知出版社、2001年）  
 葉根譚に学ぶ人間学（致知出版社、2000年）  
 道元と良寛に学ぶ人間学（致知出版社、1998年）  
 二宮尊徳（致知出版社、1996年）  
 利休と芭蕉（致知出版社、1995年）  
 禅の思想に学ぶ人間学（致知出版社、1994年）  
 老荘思想に学ぶ人間学（致知出版社、1993年）

だから人を助けなければ生きていけないということを思い出そう。日本人はもともと農耕民族である。農耕民族は人の面倒を見る。人を助けることを「生きがい」にしてこそ日本人になれるし、人を助けることは日本人の喜びなのだ。これは良い悪いではなく、日本人のDNAであり、お客様に奉仕することが楽しみになるのが農耕民族なのである。世話をさせるより世話をするほうが良いではないか。そのほうが気持ちがいい。目標を立てて達成できないと、どうしようかと心配でストレスをため込んでしまう。その考え方を一つ変えることによって、ストレスをためなくてよくなる。そのほうがよい生き方だし、これが農耕民族である日本人の考え方だと思えます。

（文責 事務局）

# 河野太郎衆議院議員講演

国立人口問題研究所による2030年の日本の人口予測によると、都道府県別では東京都、神奈川県、滋賀県、沖縄県の1都3県のみが人口が増加すると予測されています。しかし、湘南地区の人口予測はマイナス傾向にあり、同じ県内でも都市間格差が広がっています。今後の自治体のあり方は、自治体同士が競争し、一方では互いに協力をしていかなければならず、難しい選択の時代になっています。今、県庁は横浜にあります。政令指定都市の横浜は県の世話にはなっていない。したがって県庁が横浜にある必要性は無く、立地的にも便利な県庁に移すべきであり、県庁が移転されればJRも喜んで新幹線を県庁に止められるでしょう。また県央地域の活性化と発展のため、湘南ベルマーレもしっかり応援しましょう。



# 県央経営者会年間行事予定

(平成19年2月～平成20年3月)

月	日	会合名
2	5日(月)	第9回例会(新春のつどい)
	26日(月)	理事会
		新プロジェクト①会合 新プロジェクト②会合
3	19日(月)	新プロジェクト会合(オーイズミフーズ4階)
4	16日(月)	理事会(厚木商工会議所)
	25日(水)	第10回例会(ロワジーホテル厚木)
5	14日(月)	理事会(オーイズミフーズ4階)
	21日(月)	第3回総会(ロワジーホテル厚木)
6	18日(月)	公開例会準備会(厚木商工会議所)
	24日(日)	公開例会(厚木文化会館)
7	上旬	平塚地区会合
	23日(月)	理事会(オーイズミフーズ4階)
8	20日(月)	理事会(厚木商工会議所)
	27日(月)	第12回例会(会場未定)
9	19日(水)	新プロジェクト会合(厚木商工会議所)
	中旬	厚木地区会合
10	15日(月)	理事会(オーイズミフーズ4階)
	22日(月)	第13回例会(研修・懇親旅行)
11	19日(月)	理事会(厚木商工会議所)
12	3日(月)	第14回例会(プロジェクト厚木) 第3回懇親ゴルフ大会
1	21日(月)	理事会(オーイズミフーズ4階)
4	日(月)	第15回例会(新春のつどい)
3	17日(月)	理事会

※厚木ロイヤルパークホテルはロワジーホテル厚木に名称が変わります

## 懇親会(名刺交換会)が盛大に開催される

第九回例会の後、初めての試みとして懇親会の席で名刺交換会が行われました。事前に席次表を作りどの席に誰が座っているかわかるようにし、今まで名前と顔が一致しなかった会員同士が名刺交換によって懇親を深めることができました。今後の会合でも席次表を作成していきたいと思っております。



### 事務局便り

#### 次回例会のお知らせ

#### 第十回例会

日時 平成19年4月25日(水)

午後6時より

場所 ロワジーホテル厚木

(旧厚木ロイヤルパークホテル)

#### 特別講演

厚木市長 小林 常良氏

テーマ 「今後の市政と県央の発展について」(仮)

#### 講演

(株)浜銀総合研究所  
理事 八木 正幸氏

テーマ 「県央地域の将来展望と経営戦略」(仮)

#### 第三回総会

日時 平成19年5月21日(月)

午後6時より

場所 ロワジーホテル厚木

(旧厚木ロイヤルパークホテル)

#### 会員名簿の件

顔写真未納の方は3月16日(金)までに事務局にお届け下さい。

送付先 県央経営者会事務局 福島梧郎宛

〒243-0017 厚木市栄町1-16-15

厚木商工会議所 403号

電話 046-296-7010

FAX 046-206-9110

メール kenou-k@tanzawa.or.jp